



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
平成29年度学校だより
第9号
平成29年12月1日発行

人とかかわりをとおした実りの秋



仲よし広場の銀杏の木もすっかり葉を落とし、今年も残すところひと月となりました。日に日に寒くなってきましたが、目を合わせての朝の挨拶は、一人一人の成長を感じ、嬉しくなります。

11月は、「人権旬間」の取組をしました。11月24日の参観日に公開しました人権学習や児童会の「ありがとうメッセージ運動」の取組をとおして、友達のよさに目を向けることや相手の立場に立った言動の在り方を学んだ子どもたちです。11月30日には、その学習のまとめとして「人権学習まとめ集会」を低・中・高学年別に開催し、互いの気付きや学びを交流しました。今月15日には思いやりの気持ちを「成すことで学ぶ」大縄大会の取組を計画しています。これからも互いの違いやよさを認め合い、相手の立場に立って行動できる思いやりがあふれる志楽小学校にしていきたいです。

実りの秋の11月は、こすもす学級はふれあいレクリエーションでの交流、1年生は志楽幼稚園・タンポポハウスの年長児さんと交流し、2年生は様々な先生を相手に九九の習得、3年生はヤーコンの収穫、4年生は身体障害者福祉センター訪問、5年生はアート出合いプロジェクトで造形の楽しさに触れ、6年生は舞鶴市小学校合同音楽会やふるさと学習で、人とかかわりながら学びを深めました。PTA行事では、ちびっ子ソフトボールに代わる「綱引き大会」が行われ、低学年から保護者の方まで、楽しいふれあいのひとときを過ごしました。24日には、地域の代表の皆様にごコミュニティスクール推進委員会をお世話になり、児童・保護者のアンケート結果、学校職員の自己評価、児童の学力テストの結果分析などを報告させていただき、作品展や人権学習の授業参観をとおして、現在の学校の様子を見ていただきました。児童の活動に力を貸して下さる地域の皆様の存在に大きな元気をいただきました。今後とも児童の健全な育成に励んでいきたいと思ひます。

2学期と今年のための12月5日には、志楽地域学校農園クラブ感謝の集いを開催し、12年間お世話になりました農園クラブの皆様へ「ありがとう」の気持ちを伝えます。

寒い時期を迎えますが、各ご家庭や地域の皆様にはご自愛いただきご活躍をお祈りすると共に、子どもたちが元気に通えますよう今後ともご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。

校長 村川 広美
教職員 一同



ロケに新たに...

★「人の役に立つ」貢献がエネルギーに

台風の後、学校裏門から志楽川へ降りる階段とその沿岸に、流れてきた木や植物の株がゴミのようにたまり、景観が悪くなりました。大量の砂も運ばれて山になっています。そのことに気付いた一年生の子が、毎朝、そのゴミを拾って一輪車で草捨て場まで運んでくれています。最初は、一輪車がひっくり返り、うまく操作ができませんでしたが、今ではとても上手に運んでいます。何が、この子にこんなことをさせるのだろうか？とその姿を見て考えながら、私は、来年の運動会の児童会種目で一輪車を使った競技がしたいなと楽しいことを考えています。きれいになること、元の状態を目指すこと、人に喜んでもらえること・・・なにか達成感を味わっているように感じます。様子を見て、僕も私もやりたいなあ・・・！という友が増えるといいのになあと思ひながら、一緒に川掃除をしています。

★地域の担い手が育っています

十一月十九日に志楽地域の防災訓練が体育館で行われました。救命講習の後、地域防災について消防署の方が講演をされました。区長様等地域の先輩に混ざって、本校の五年生三名がその講演を聴いていました。後から様子を見に行った私に、講演終了後、「校長先生、ちゃんとメモをとって話を聞きました。」と、そのメモを見せてくれました。「将来の地域の担い手やなあ。」と嬉しくなると同時に、しっかりとした次期最高学年の頼もしさを感じました。

★次代の担い手に

次期学習指導要領では、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を重視し、新しい時代に必要となる資質・能力の育成と学習評価の充実により、「何ができるようにするか」を目指しています。私は、前述の子どもの姿のように、学びが生活に活かされることも大事だと考えています。

